

## 決戦！？ 2月議会 in 2012

定例議会で議員は一般質問ができます。一般質問とは「市政一般に関する質問」を略した言い方で、議員が市政に関するさまざまな問題について、市長や部長など行政の執行機関に質問することです。一般質問により、市の政策や仕事の進め方の見直し、変更、新たな政策提案を認めてもらう事が目的だと思いい取り組んでいます。2年前の2011年10月、私が3日間の地方視察から戻ると母がなけなしのお金230万円を振込め詐欺業者に払い込んでしまっていました。聡明だと思っていた59歳の母があっさりとはひっかかり驚いたものです。2011年は前年・2年前と比較して、被害額が1億円増えて1億3300万円になった年で（※今も高止まりの被害額。）、市川市は狙われている！と感じ、議会で「振込め詐欺対策」について一般質問を行い、ナンバーディスプレイの啓発も含めた取り組みを行う事を提案しました。2013年7月現在、日中に市内の防災スピーカーから振り込め詐欺予防アナウンスが流れたり、銀行のATMは振込め詐欺防止掲示物で壁が埋め尽くされ、パン工房「ルチア」では「ひった栗防止パン」「振り米防止パン」等が販売されました。それでも、新型の「知り合いが取りに行く」詐欺等も横行しており、警察や市の取り組みとのいたちごっこが続いています。当時の母は、振り込め詐欺ニュースを見ると、めそめそ泣き出して「こういうことがないようになるといいな」と言い、「こういう悲しい目に遭った事は、私がぼけたら忘れて幸せになるのかな？」（59歳）等と書いていました。市川市に住んでいる私たちが悲しい目に遭わず、幸せな社会にしたい！と祈りにも似た想いで日々考え過ごしています。行政面だけでなく何かシステムの取り組みも含めて、今後改めて提案します。今回お伝えしたい事は1点のみです。「週刊増田好秀を受け取ってくれている2000人の皆様は大丈夫だと思えますが、お父様お母様がいらっしやいましたら、是非、警告してあげて下さい。」みなさんで「ベストな状態の市川市」を思い描き、話し合ってください。想いが集まれば、良い社会、街が形成されます。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成25年7月24日

増田好秀